

## 「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」TEMDEC (Telemedicine Development Center of Asia)活動報告：第7巻

清水, 周次  
九州大学病院

中島, 直樹  
九州大学病院

<https://doi.org/10.15017/19698>

---

出版情報：「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」 TEMDEC活動報告. 7, 2011-03. TEMDEC事務局  
バージョン：  
権利関係：

## 2) テクニカルセッション・サマリー



# エンジニアへのアンケート結果

九州大学病院 アジア遠隔医療開発センター  
寅田 信博、清水周次

2010年12月18日 アジア遠隔医療シンポジウム2010 in ソウル



## アンケートにご協力いただいた施設一覧

九州大学病院(日本)  
京都第二赤十字病院(日本)  
国立成育医療研究センター(日本)  
産業医科大学(日本)  
徳島大学(日本)  
藤田保健衛生大学病院(日本)  
福岡大学(日本)  
北海道大学(日本)  
アサン医療センター (韓国)  
建国大学(韓国)  
高麗大学(韓国)  
ソウル大学ブندان病院(韓国)  
忠北大学(韓国)  
漢陽大学(韓国)

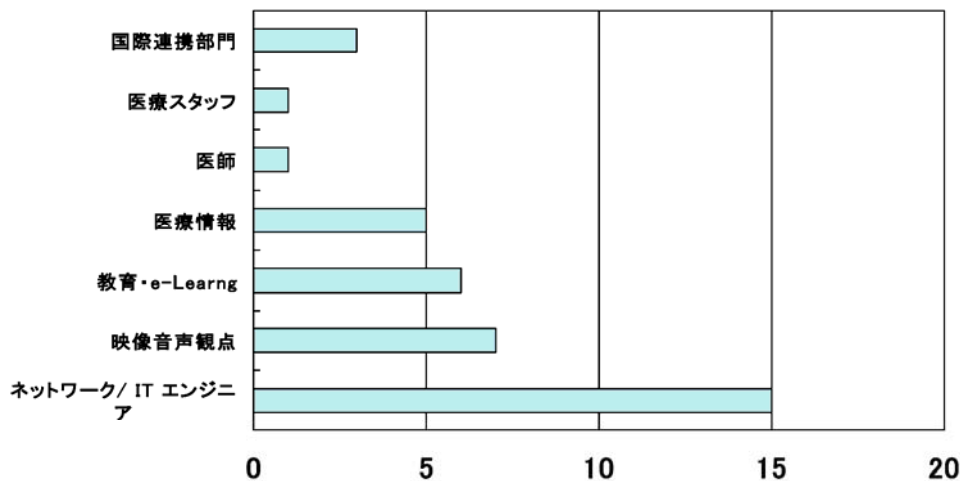
- CERNET.Network Center 清華大学 (中国)
- 上海交通大学第一人民病院(中国)
- 香港大学(中国)
- フリンダース大学(オーストラリア)
- チョウレイ病院 (ベトナム)
- 国立シンガポール大学(シンガポール)
- 国立大学病院(シンガポール)
- チュラロンコン大学(タイ)
- ラジャビティ病院(タイ)
- 国立台湾大学(台湾)
- Advance Science and Technology Institute (ASTI) (フィリピン)
- VinaREN - ベトナム研究教育ネットワーク(ベトナム)
- マラヤ大学(マレーシア)

27 施設から回答をいただきました。



### 遠隔医療を支援するための組織について

その組織の主な業務はなんですか(複数回答可)

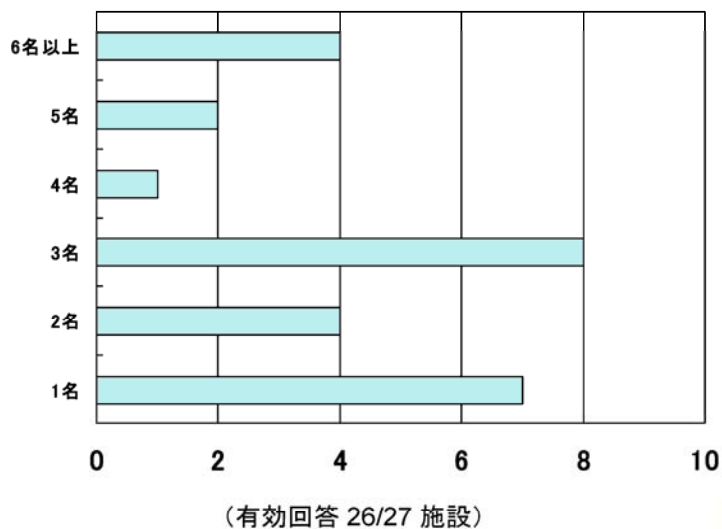


(有効回答 20/27 施設)



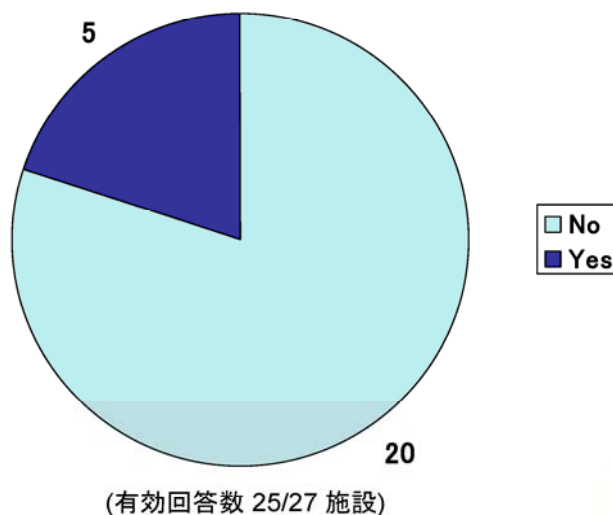
### 遠隔医療を支援するための組織について

何名のエンジニアがサポート業務を行っていますか



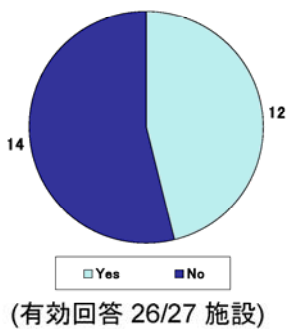
### 遠隔医療を支援するための組織について

支援を受けるためにその組織に費用を払う必要がありますか？

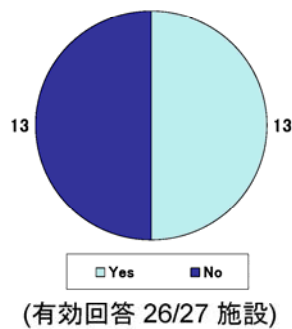


### 所有している機材について

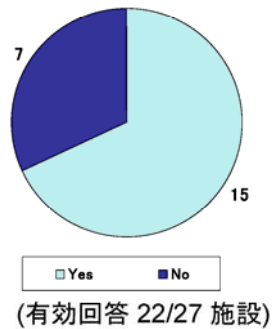
液晶モニター



プラズマモニター

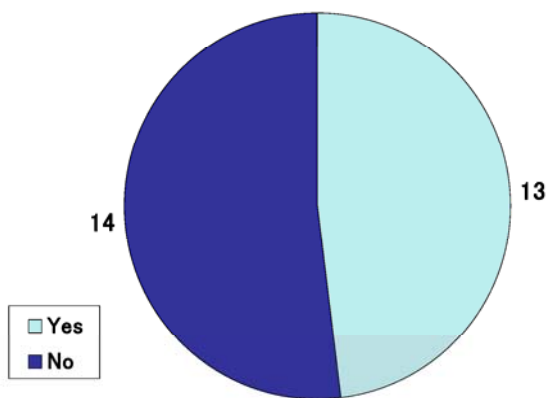


プロジェクター



### 所有している機材について

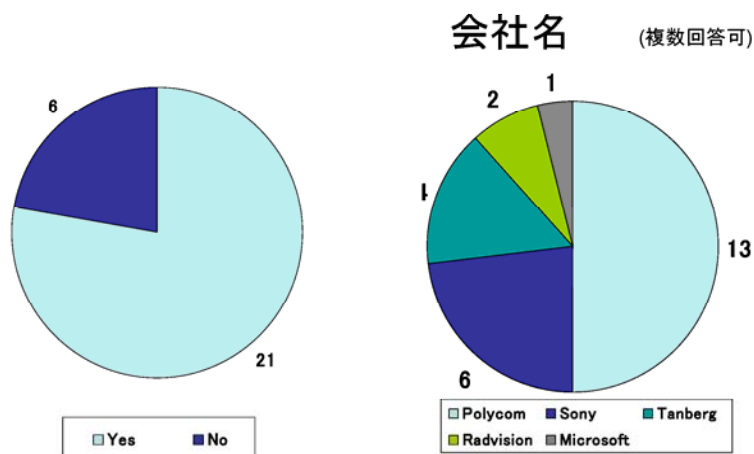
VPN ルーターの有無(Allied Telesis AR5xx or AT-AR7xx)



(有効回答27/27施設)



## 使用している機材について H.323 互換テレビ会議システムについて



(有効回答 27/27 施設) TEMDEC  
Telemedicine Development Center of Asia

## 回答者から寄せられたコメント

- サポートのための人員不足
- 機器操作に慣れていない
- DVTSを使った遠隔医療活動の経験不足
- 医師側の遠隔医療に対し、熱心ではない
- 機材不足(費用)
- IEEE1394インターフェースの今後
- ネットワークトラブル (ルーティング、Firewall)
- DVTS MCU (Quatre) が自由に使えない
- エコー問題

## エンジニアセッションまとめ

- 4つのセッションで15のプレゼンを行った
- およそ30名の参加者があった
- DVTSの映像音声、ネットワーク等に対して活発なディスカッションがあった
- エンジニア間の交流促進、情報共有のため、windows live™に専用のホームページを開設した。
- ローカルエンジニアには、ネットワークや、映像音声、教育、医療情報などさまざまな専門的な知識を持った方が含まれていることがわかった。